



2021年3月期 決算説明資料

新家工業株式会社

2021年5月14日

証券コード7305

目次

<u>I. 2021年3月期 連結決算概要</u>	<u>2</u>
II. 2021年3月期 セグメント毎の概要	16
III. 2022年3月期 通期連結業績予想	21
IV. 株主還元	24
V. ご参考	26

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
%表示は、小数点以下第1位未満を切捨てております。

I.1.① 2021年3月期 連結決算要旨

売上高

365.0 億円

(前年度比 ▲11.1%)

売上
総利益

62.1 億円

(前年度比 ▲12.4%)

営業
利益

7.1 億円

(前年度比 ▲44.1%)

経常
利益

9.5 億円

(前年度比 ▲34.7%)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

12.8 億円

(前年度比 +81.7%)

EBITDA
(営業利益+
減価償却費)

14.2 億円

(前年度比 ▲24.3%)

I.1.② 2021年3月期 連結決算要旨

【ROE】
自己資本
当期純利益率

5.2 %
(前年度比 +2.2pt)

※自己資本および総資産ともに期中平均を用いて計算しております。

【ROA】
総資産
経常利益率

2.1 %
(前年度比 ▲1.1pt)

【BPS】
1株当たり
純資産

4,676円15銭
(前年度比 +12.2%)

※期末時点の発行済み株式数6,045,326株から自己株式数477,772株を除いた株式数（5,567,554株）で計算しております。

【EPS】
1株当たり
当期純利益

230円65銭
(前年度比 +81.7%)

有利子負債

68.4 億円
(前年度比 + 7.3%)

FCF
(営業CF+投資CF)

7.3 億円
(前年度は ▲18.1億円)

I .1.③ 2021年3月期 連結決算要旨

2021年3月期 決算のポイント

前年同期比 : 【減収増益】

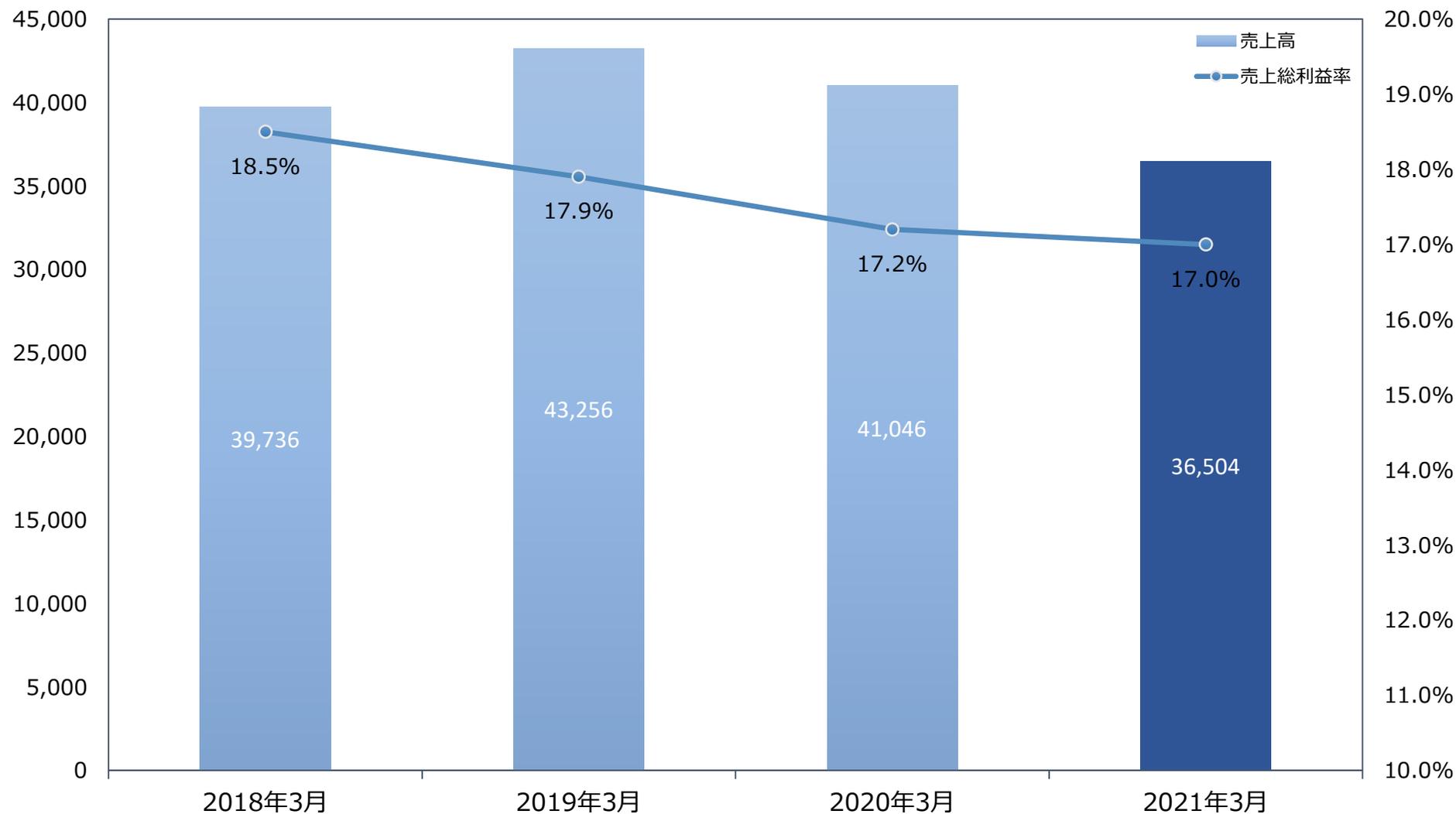
- 当年度の世界の粗鋼生産量は、コロナ禍の影響を受けたものの、世界経済が正常化に向かい始めたことによる堅調な鋼材需要を背景に、前年度より増加
- 国内では、上期に鋼材需要の減少による粗鋼の生産調整の動きがあったものの下期にかけて自動車や物流倉庫等における需要が回復傾向にあり、2021年初頭からは鋼材の需給が逼迫し、これらを背景に当社製品の原材料も値上がり。当社としても製品価格への転嫁に努めたが、国内の鋼管製品の需給環境は一部で回復基調がみられるものの総じて弱含みであり、売上高・営業利益共に前年度を下回る結果となった
- 連結子会社であるアラヤ特殊金属株式会社の株式を追加で取得し、完全子会社化（85%→100%）。
- 純利益は、特別利益（固定資産の売却益・事業構造引当金の戻し入れ等）が大きく影響し、前年同期+80%と大幅に増額となった

I .2. 2021年3月期 連結損益計算書 (4期比較)

(単位：百万円)	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期	
	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)
売上高	39,736	(-)	43,256	(-)	41,046	(-)	36,504	(-)
売上原価	32,351	(81.4%)	35,502	(82.0%)	33,950	(82.7%)	30,292	(82.9%)
売上総利益	7,384	(18.5%)	7,754	(17.9%)	7,096	(17.2%)	6,212	(17.0%)
販売費及び一般管理費	5,230	(13.1%)	5,690	(13.1%)	5,820	(14.1%)	5,499	(15.0%)
営業利益	2,154	(5.4%)	2,063	(4.7%)	1,275	(3.1%)	713	(1.9%)
営業外収益	269	(0.6%)	305	(0.7%)	330	(0.8%)	343	(0.9%)
営業外費用	140	(0.3%)	133	(0.3%)	140	(0.3%)	100	(0.2%)
経常利益	2,283	(5.7%)	2,235	(5.1%)	1,464	(3.5%)	956	(2.6%)
特別利益	5	(0.0%)	298	(0.6%)	2	(0.0%)	943	(2.5%)
特別損失	17	(0.0%)	270	(0.6%)	49	(0.1%)	242	(0.6%)
税金等調整前当期純利益	2,272	(5.7%)	2,263	(5.2%)	1,417	(3.4%)	1,656	(4.5%)
法人税等合計	557	(1.4%)	551	(1.2%)	568	(1.3%)	301	(3.7%)
非支配株主に帰属する当期純利益	138	(0.3%)	209	(0.5%)	142	(0.3%)	71	(0.2%)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,576	(3.9%)	1,502	(3.4%)	706	(1.7%)	1,284	(3.5%)

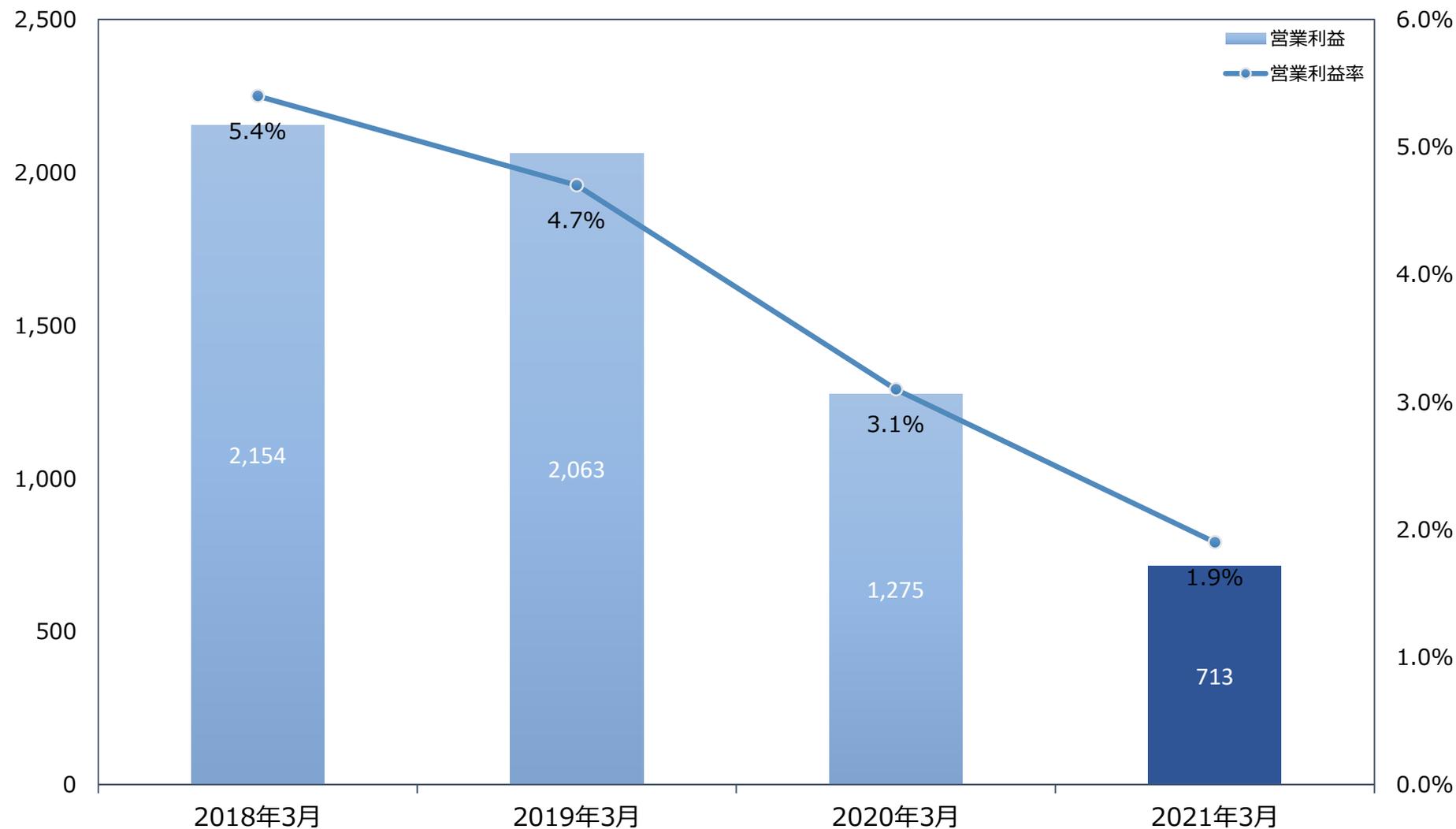
I .3.① 2021年3月期 連結売上高（推移表）

（単位：百万円）



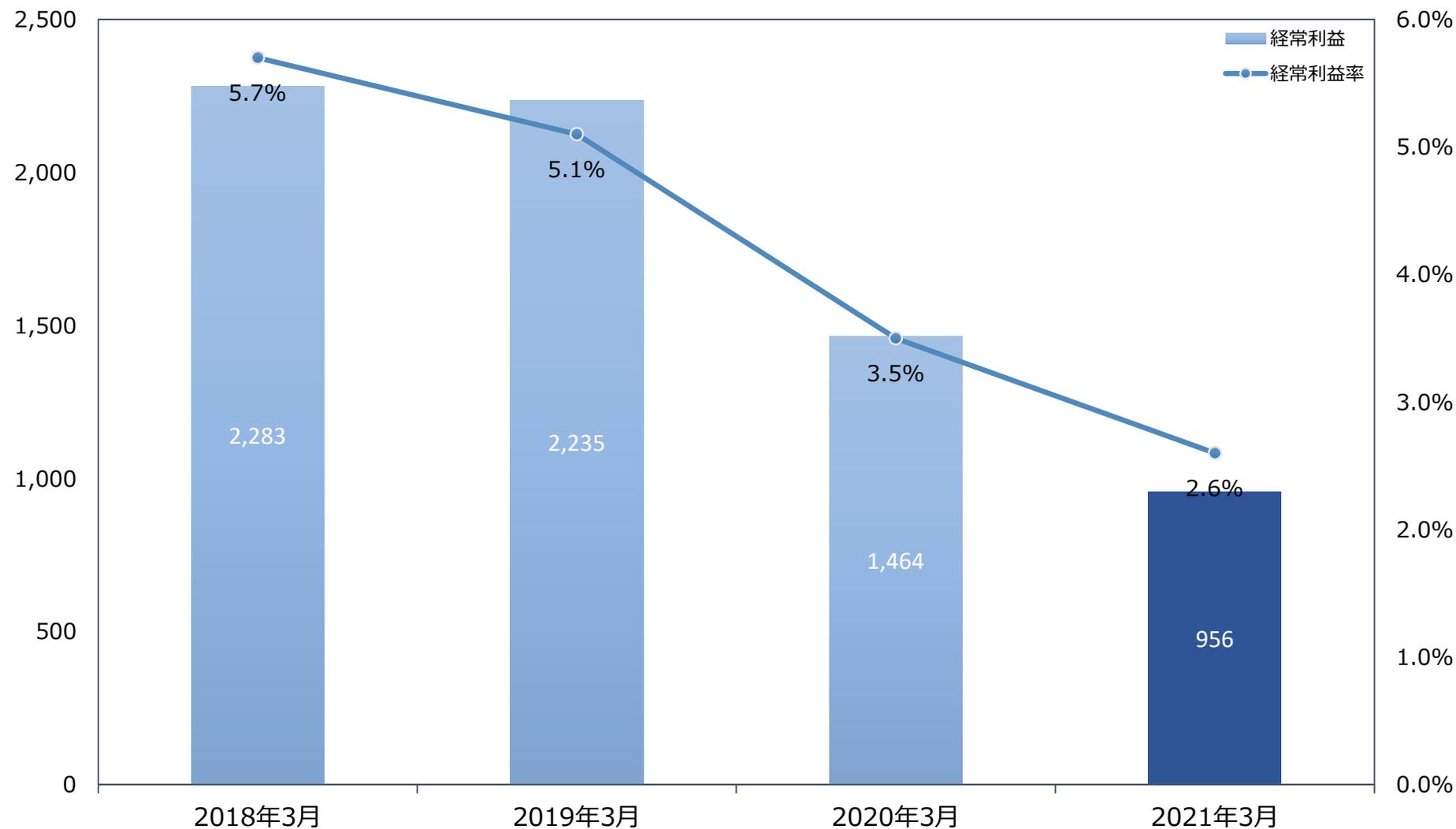
I .3.② 2021年3月期 連結営業利益（推移表）

（単位：百万円）



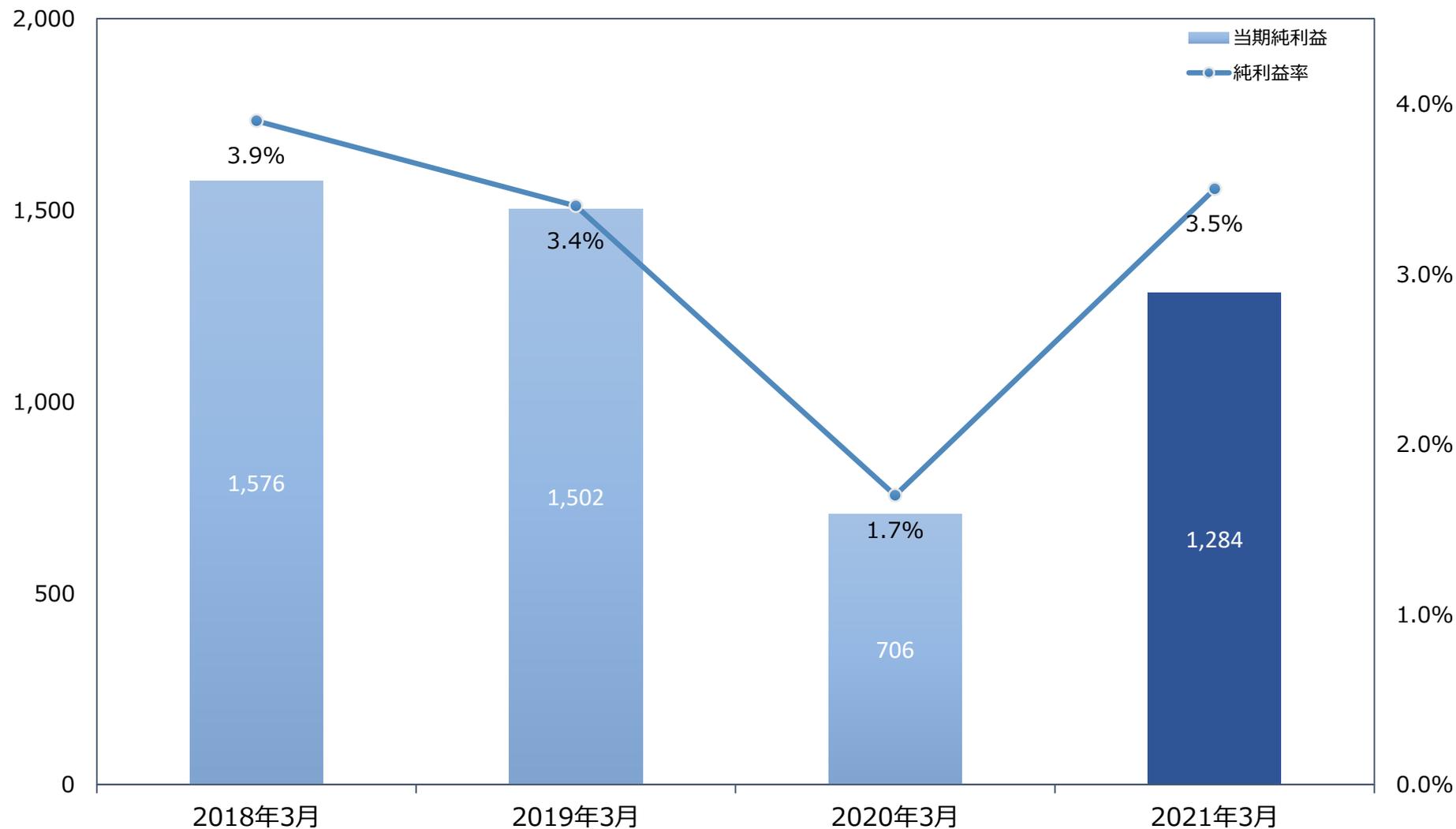
I .3.③ 2021年3月期 連結經常利益 (推移表)

(単位：百万円)



I .3.④ 2021年3月期 連結当期純利益（推移表）

（単位：百万円）



I .4. 2021年3月期 連結当期純利益（概況）

純利益額	12億84百万円	前年度比	+5億77百万円（+81.7%）
純利益率	3.5%	前年度比	+1.6pt

主な増減要因

1. 営業利益 **▲ 5億61百万円**

- ⇒ 国内需給環境の悪化による販売数量の減少
原材料の高騰による利益率の低下

2. 特別損益 + 8億66百万円

- ⇒ インドネシアの連結子会社の清算に伴う固定資産の譲渡による「**固定資産売却益**」の計上（2020年5月12日開示資料 ご参照） **+6億99百万円**
- ⇒ 2017年3月期に事業構造改善引当金として計上した関西工場の再構築に伴う土壌改良工事に係る費用について、工法等の見直しにより当初見込んでいた金額が減額したことに伴う「**事業構造改善引当金戻入額**」の計上 **+1億67百万円**

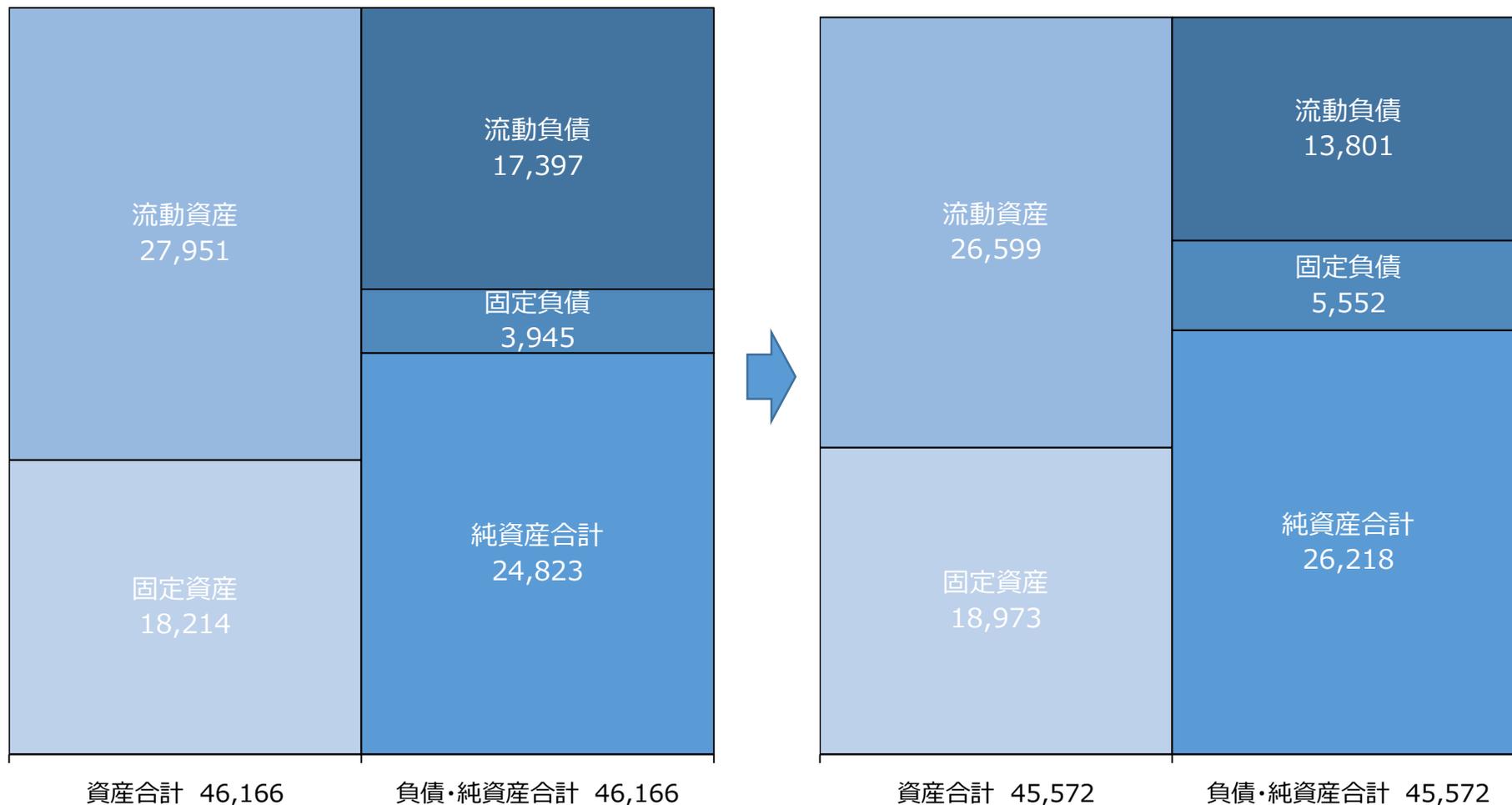
I .5.① 2021年3月期 連結貸借対照表の状況

(単位：百万円)		2021年 3月期	2020年 3月期	増減額	主な増減要因
資産の部	流動資産	26,559	27,951	▲1,352	受取手形及び売掛金の減少 ▲1,645百万円
	現金及び預金	8,409	7,874	+535	-
	固定資産	18,973	18,214	+720	投資有価証券の増加 +1,267百万円
	資産合計	45,572	46,166	▲593	-
負債の部	流動負債	13,801	17,397	▲3,595	支払手形及び買掛金の減少 ▲943百万円
	固定負債	5,552	3,945	+1,606	長期繰延税金負債の増加 +325百万円
	負債合計	19,354	21,343	▲1,988	-
純資産の部	株主資本	24,122	22,853	+536	利益剰余金の増加 +811百万円
	その他の包括利益累計額	1,912	348	+740	その他有価証券評価差額金の増加 +1,170百万円
	非支配株主持分	183	1,620	▲1,437	-
	純資産合計	26,218	24,823	+1,395	-
負債純資産合計		45,572	46,166	▲593	-

I .5.② 2021年3月期 連結貸借対照表 (2期比較)

2020年3月期BS

2021年3月期BS

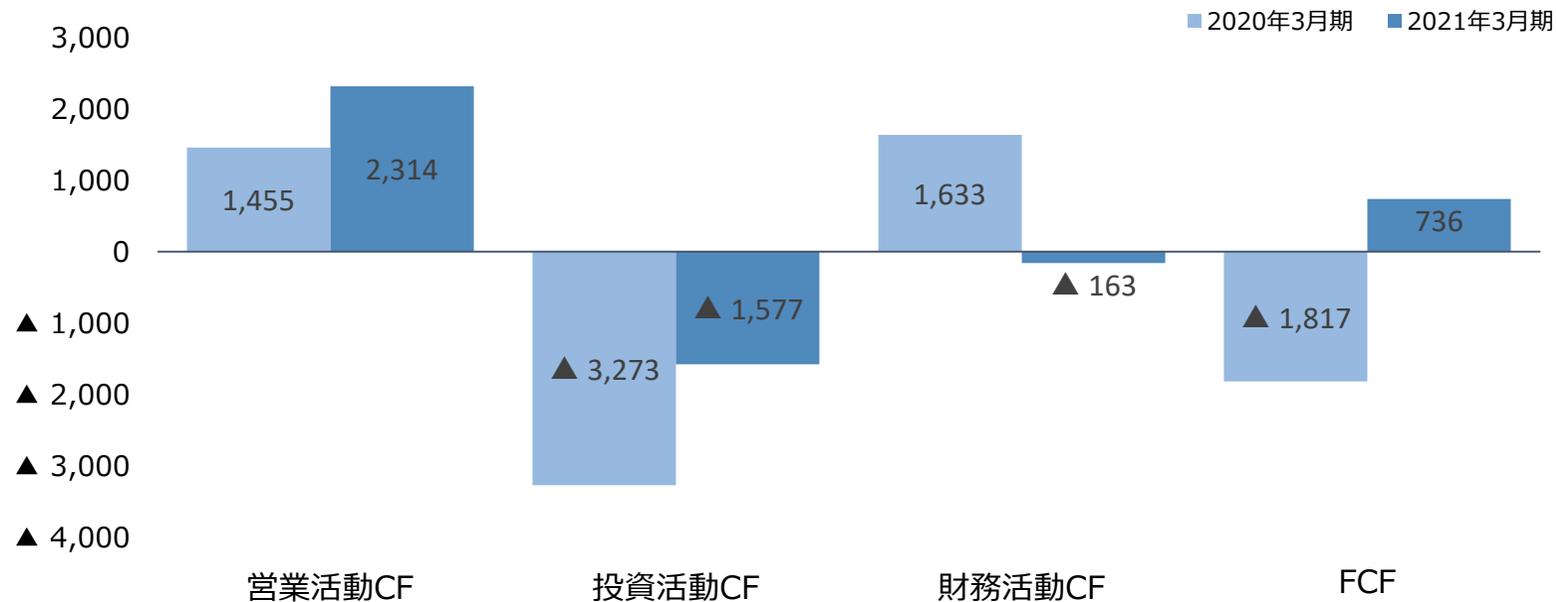


I .6.① 2021年3月期 連結CF計算書

(単位：百万円)	2021年 3月期	2020年 3月期	増減	主な増減要因
営業活動による キャッシュフロー	2,314	1,455	+859	売上債権の増減額 ▲1,353百万円 たな卸資産の増減額 +1,660百万円
投資活動による キャッシュフロー	▲1,577	▲3,273	+1,695	有形固定資産の取得による支出 +1,503百万円
財務活動による キャッシュフロー	▲163	1,633	▲1,797	長期借入れによる収入 +1,150百万円 短期借入金の純増減額 ▲3,519百万円
現金及び現金同等物 に係る換算差額	▲37	5	▲42	-
現金及び現金同等物 の増減額 (△は減少)	535	▲178	+714	-
現金及び現金同等物 の期首残高	7,874	8,052	▲178	-
現金及び現金同等物 の期末残高	8,409	7,874	+535	-
フリーキャッシュフロー	736	▲1,817	+2,554	(営業活動によるCF + 投資活動によるCF)

I .6.② 2021年3月期 連結CF概況

営業活動によるCF		投資活動によるCF		財務活動によるCF	
2,314百万円 (前年度 1,455百万円)		▲1,577百万円 (前年度 ▲3,273百万円)		▲163百万円 (前年度 1,633百万円)	
主な項目		主な項目		主な項目	
税引前当期純利益	+1,656百万円	関係会社株式の取得による支出	▲906百万円	短期借入金の純増減額	▲1,677百万円
減価償却費	+715百万円	有形固定資産の取得による支出	▲1,273百万円	長期借入金による収入	+2,200百万円
支払利息	+40百万円	有形固定資産の売却による収入	+414百万円	配当金の支払い額	▲471百万円
法人税等の支払額	▲355百万円	無形固定資産の取得による支出	▲269百万円	非支配株主への配当金支払額	▲135百万円



目次

I. 2021年3月期 連結決算概要	2
<u>II. 2021年3月期 セグメント毎の概要</u>	<u>16</u>
III. 2022年3月期 通期連結業績予想	21
IV. 株主還元	24
V. ご参考	26

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
%表示は、小数点以下第1位未満を切捨てております。

Ⅱ.1. セグメント別売上高・営業利益構成比率

	2021年3月期			2020年3月期			増減		
	(単位：百万円)	金額	構成比 (営業利益率)	金額	構成比 (営業利益率)	金額	率		
売上高	鋼管関連	35,499	97.2%	40,087	97.7%	▲4,588	▲11.4%		
	自転車関連	425	1.2%	431	1.0%	▲5	▲1.3%		
	不動産等賃貸	568	1.6%	515	1.3%	+52	+10.2%		
	その他	9	0.0%	11	0.0%	▲3	▲3.2%		
	小計 (連結PL計上額)	36,504	100.0%	41,046	100.0%	▲4,541	▲11.1%		
営業費用	鋼管関連	35,248	98.5%	39,075	98.2%	▲3,826	▲9.8%		
	自転車関連	492	1.4%	634	1.6%	▲142	▲22.4%		
	不動産等賃貸	76	0.2%	80	0.2%	▲4	▲5.0%		
	その他	8	0.0%	9	0.0%	▲0	▲10.0%		
	調整額	▲34	▲0.1%	▲28	▲0.0%	▲6	-		
小計 (連結PL計上額)	35,791	100.0%	39,771	100.0%	▲3,980	▲10.0%			
営業利益	鋼管関連	250	35.1%	(0.7%)	1,012	79.4%	(2.5%)	▲761	▲75.2%
	自転車関連	▲66	▲9.3%	(▲15.7%)	▲203	▲15.9%	(▲47.1%)	+136	-
	不動産等賃貸	491	69.0%	(86.5%)	435	34.1%	(84.3%)	+56	+13.1%
	その他	2	0.4%	(26.2%)	2	0.2%	(20.6%)	+0	+22.8%
	調整額	34	4.8%	-	28	2.2%	-	+6	+21.9%
小計 (連結PL計上額)	713	100.0%	(1.9%)	1,275	100.0%	(3.1%)	▲561	▲44.0%	

Ⅱ.2.① 鋼管関連セグメント（概況）

売上高	354億99百万円	前年同期比	▲45億88百万円（▲11.4%）
営業利益	2億50百万円	前年同期比	▲7億61百万円（▲75.2%）

主な増減要因

1. 普通鋼製品

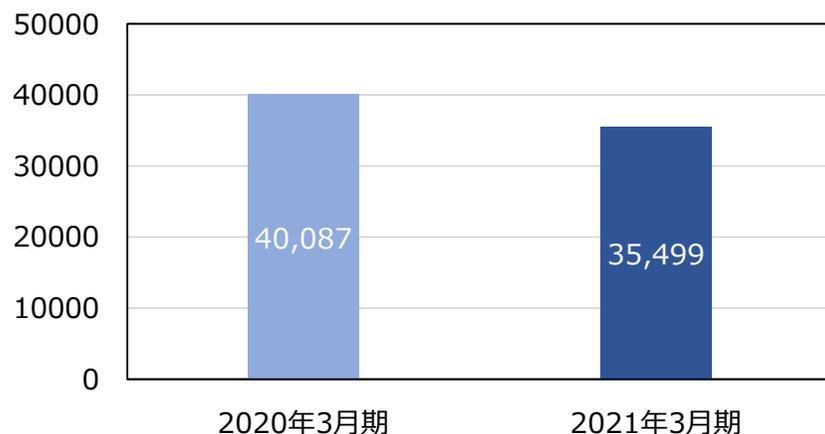
- ・ 建築関連の中小型案件の中止等による鋼管製品の需給環境の悪化
- ・ 製鋼原料（鉄鉱石・原料炭等）価格の高騰に伴う仕入コストの上昇による利益率の低下

2. ステンレス鋼製品

- ・ 設備投資意欲の減衰等による国内のステンレス鋼製品の需給環境の悪化
- ・ ステンレス鋼原料（ニッケル、クロム等）価格の高騰に伴う仕入コストの上昇による利益率の低下

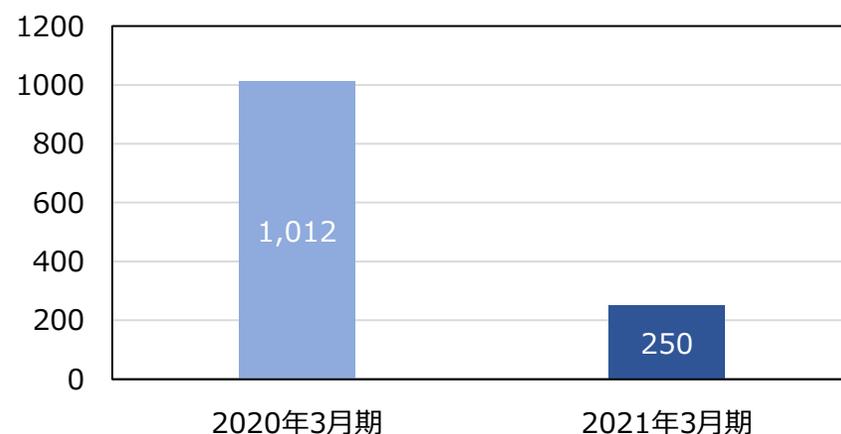
（単位：百万円）

売上高（鋼管関連）



（単位：百万円）

営業利益（鋼管関連）



Ⅱ.2.② 自転車関連セグメント（概況）

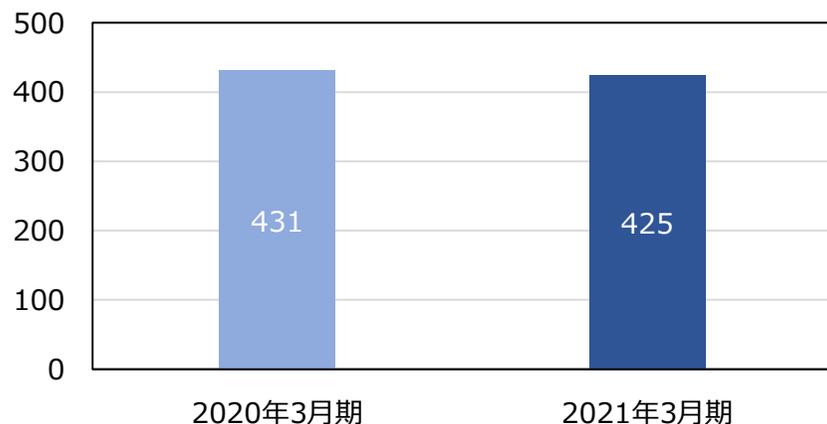
売上高	4億25百万円	前年同期比	▲5百万円（▲1.3%）
営業損失	▲66百万円	前年同期比	+ 1億36百万円

主な増減要因

1. コロナ禍での自転車特需を背景とした完成自転車の販売台数の増加による営業損益の改善
 - ・ 8月に発売した Muddy Fox ブランド新モデルの販売は好調、一方で海外子会社の清算により売上高は減少
2. 自転車需要の拡大による世界的な自転車部品の供給不足の発生
 - ・ 世界的な自転車需要の拡大に伴い、自転車部品の供給量が不足し、自転車製品の製造に遅れが生じたことに伴う販売機会損失の発生

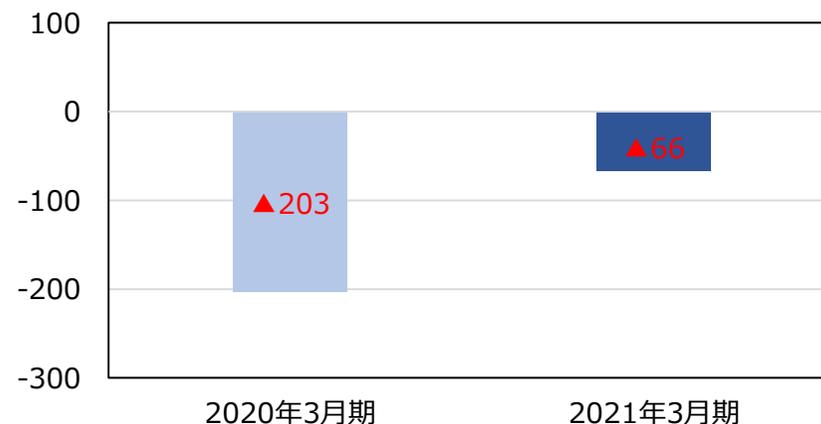
(単位：百万円)

売上高（自転車関連）



(単位：百万円)

営業損失（自転車関連）



Ⅱ.2.③ 不動産等賃貸セグメント（概況）

売上高	5億68百万円	前年同期比	+ 52百万円 (+10.2%)
営業利益	4億91百万円	前年同期比	+ 56百万円 (+13.1%)

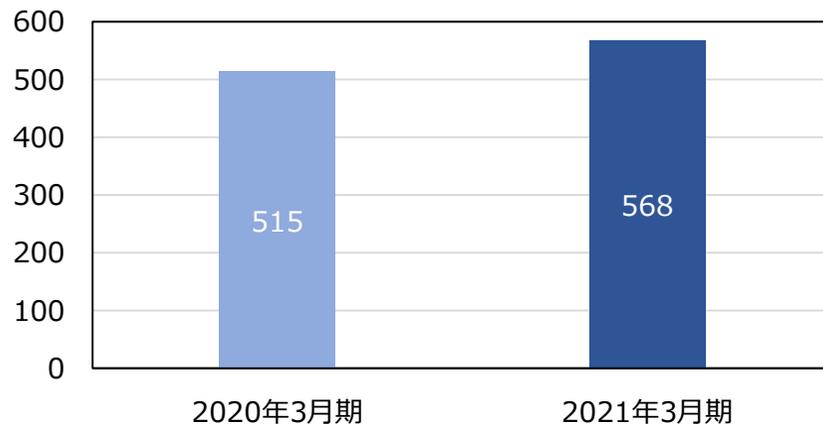
主な増減要因

1. 地代収入の増加

- ・ 関西工場内旧リム工場跡地につき、下期より地代収入を満額計上したことにより売上高・営業利益共に増加

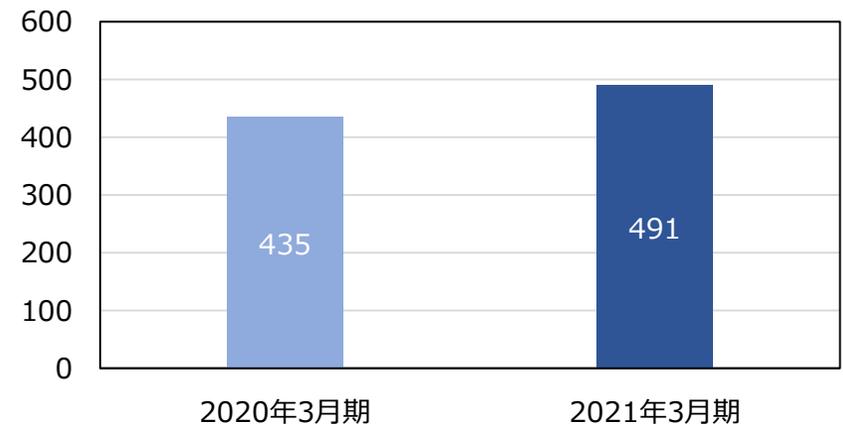
(単位：百万円)

売上高（不動産等賃貸）



(単位：百万円)

営業利益（不動産等賃貸）



目次

I. 2021年3月期 連結決算概要	2
II. 2021年3月期 セグメント毎の概要	16
<u>III. 2022年3月期 通期連結業績予想</u>	<u>21</u>
IV. 株主還元	24
V. ご参考	26

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
%表示は、小数点以下第1位未満を切捨てております。

Ⅲ.1. 2022年3月期 通期連結業績予想の見通し

中期経営計画（2023）に基づく主要施策

■ 製造・販売力の強化と収益力の向上

生産能力の向上や高付加価値品の開発および生産効率の向上による生産体制の見直しを図る
販売体制の見直しによる新たな販路の拡大および適時的確な営業活動による製品の市場浸透力を強化し収益力の向上を図る

■ 経営基盤の強化

グループ各社の関係性を見直しや役割を明確にすることで、グループ力の強化を図る
財務体質の強化や業務改革の推進を図るとともに人材育成および活用に取り組む

業績に影響を及ぼす事項（前提事項等）

■ 材料の市況変動

当社製品の原材料である普通鋼およびステンレス鋼の薄板（鋼帯）の市場価格は当社ではコントロールできないものであり、世界的な需給バランスによって原材料価格が絶えず変動する
世界的に堅調な鋼材需要を背景に原料価格は上昇傾向にあることに加え、鋼材需要の回復に原材料メーカーの生産が追い付かないため鋼材の需給が逼迫化し、原材料価格が高騰傾向にある。一方で当社の主力である鋼管製品の国内需要は、一部自動車関係では回復基調にあるものの企業の設備投資関連や住宅等の建築関連においてはコロナ前の水準には当面戻らない見通し
当社では、製品価格への転嫁に努めるとともに「中期経営計画（2023）」の主要施策の実施により、コントロール可能な範囲において、収益を向上できるよう製販一体となって各種施策に取り組む

Ⅲ.2. 2022年3月期 通期連結業績予想値

売上高

350 億円

(前年度比 ▲4.1%)

営業
利益

11 億円

(前年度比 +54.2%)

経常
利益

13 億円

(前年度比 +36.0%)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

8 億円

(前年度比 ▲37.7%)

1株当たり
当期純利益

143円69銭

(前年度比 ▲37.7%)

※上記の予想数値は、発表日現在において入手可能な情報および当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

目次

I. 2021年3月期 連結決算概要	2
II. 2021年3月期 セグメント毎の概要	16
III. 2022年3月期 通期連結業績予想	21
<u>IV. 株主還元</u>	<u>24</u>
V. ご参考	26

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
%表示は、小数点以下第1位未満を切捨てております。

IV. 配当金実績および予想

基本方針 安定的かつ継続的な配当の実施（配当性向等は定めておりません）

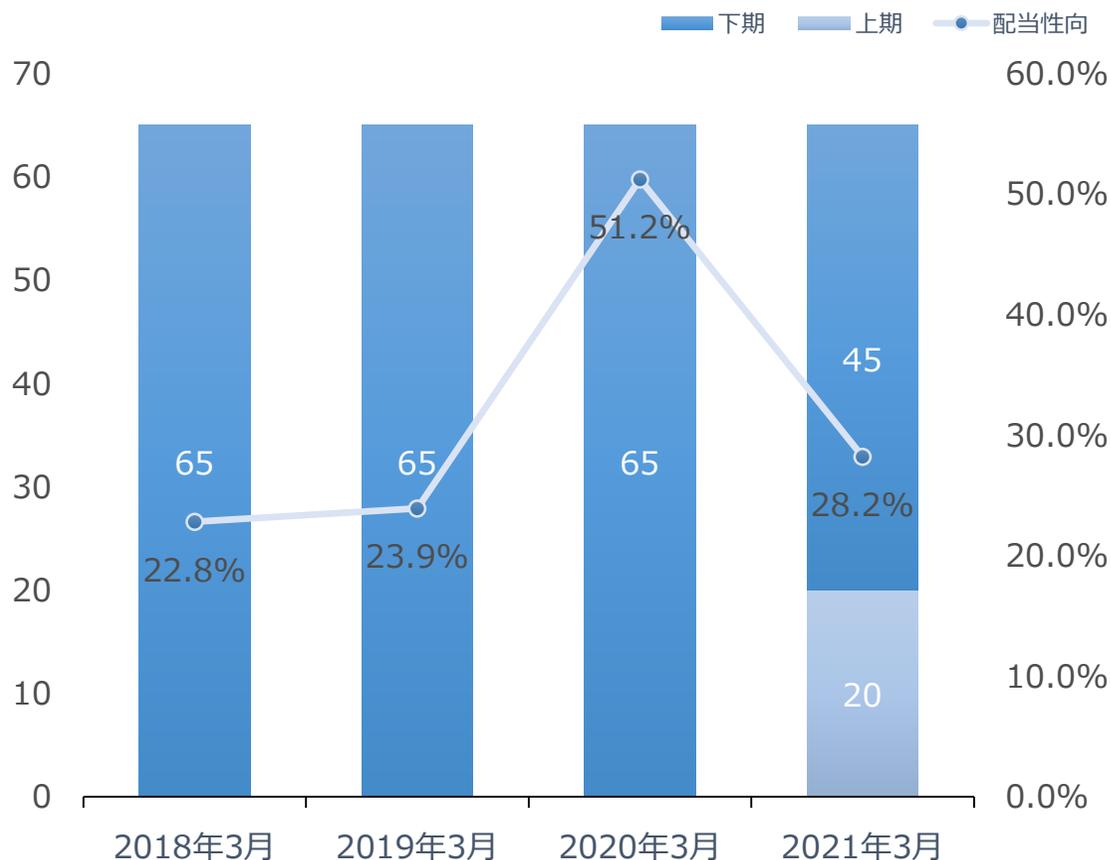
年間配当予想については、前期実績と同様の年間配当**65円**を予定

2021年3月期配当金（今期）

中間	20円00銭
期末(予定)	45円00銭
年間(予定)	65円00銭
配当性向(予定)	28.2%

2022年3月期配当金（来期）

中間(予定)	20円00銭
期末(予定)	45円00銭
年間(予定)	65円00銭
配当性向(予定)	45.2%



目次

I. 2021年3月期 連結決算概要	2
II. 2021年3月期 セグメント毎の概要	16
III. 2022年3月期 通期連結業績予想	21
IV. 株主還元	24
<u>V. ご参考</u>	<u>26</u>

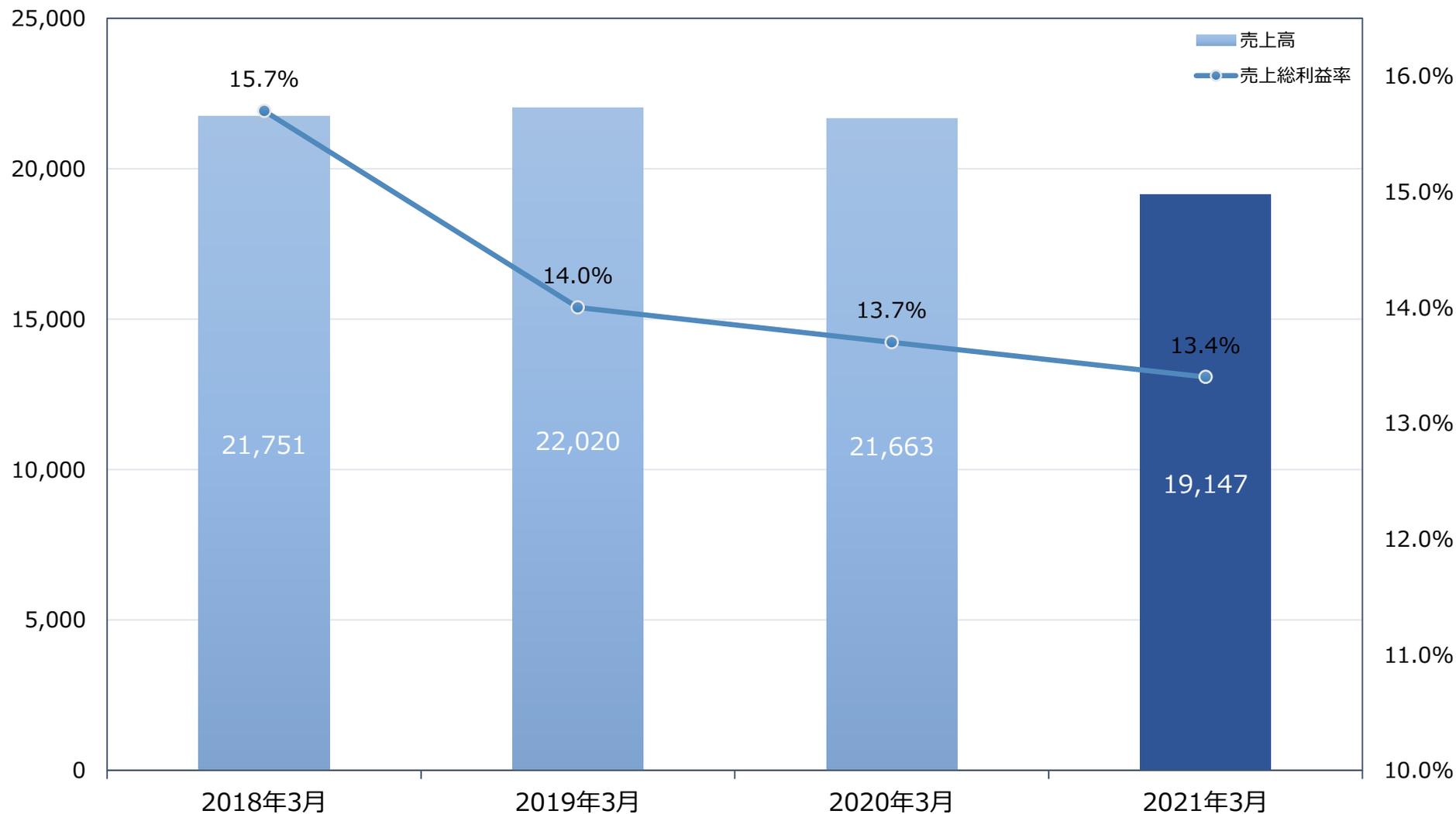
※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
%表示は、小数点以下第1位未満を切捨てております。

V.1. 個別損益計算書（4期比較）

	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期	
	(単位：百万円)		金額	(売上高比)	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)
売上高	21,751	(-)	22,020	(-)	21,663	(-)	19,147	(-)
売上原価	18,316	(84.2%)	18,920	(85.9%)	18,677	(86.2%)	16,578	(86.5%)
売上総利益	3,434	(15.7%)	3,100	(14.0%)	2,985	(13.7%)	2,569	(13.4%)
販売費及び一般管理費	2,392	(11.0%)	2,411	(10.9%)	2,526	(11.6%)	2,338	(12.2%)
営業利益	1,042	(4.7%)	688	(3.1%)	459	(2.1%)	231	(1.2%)
営業外収益	220	(1.0%)	891	(4.0%)	261	(1.2%)	1,048	(5.5%)
営業外費用	88	(0.4%)	66	(0.3%)	111	(0.5%)	102	(0.5%)
経常利益	1,175	(5.4%)	1,513	(6.8%)	609	(2.8%)	1,176	(6.1%)
特別利益	4	(0.0%)	211	(0.9%)	0	(0.0%)	245	(1.3%)
特別損失	15	(0.0%)	712	(3.2%)	175	(0.8%)	379	(2.0%)
税金等調整前当期純利益	1,164	(5.3%)	1,011	(4.6%)	433	(2.0%)	1,042	(5.5%)
法人税等合計	365	(1.6%)	302	(1.3%)	177	(0.8%)	160	(0.8%)
当期純利益	798	(3.6%)	709	(3.2%)	255	(1.1%)	882	(4.6%)

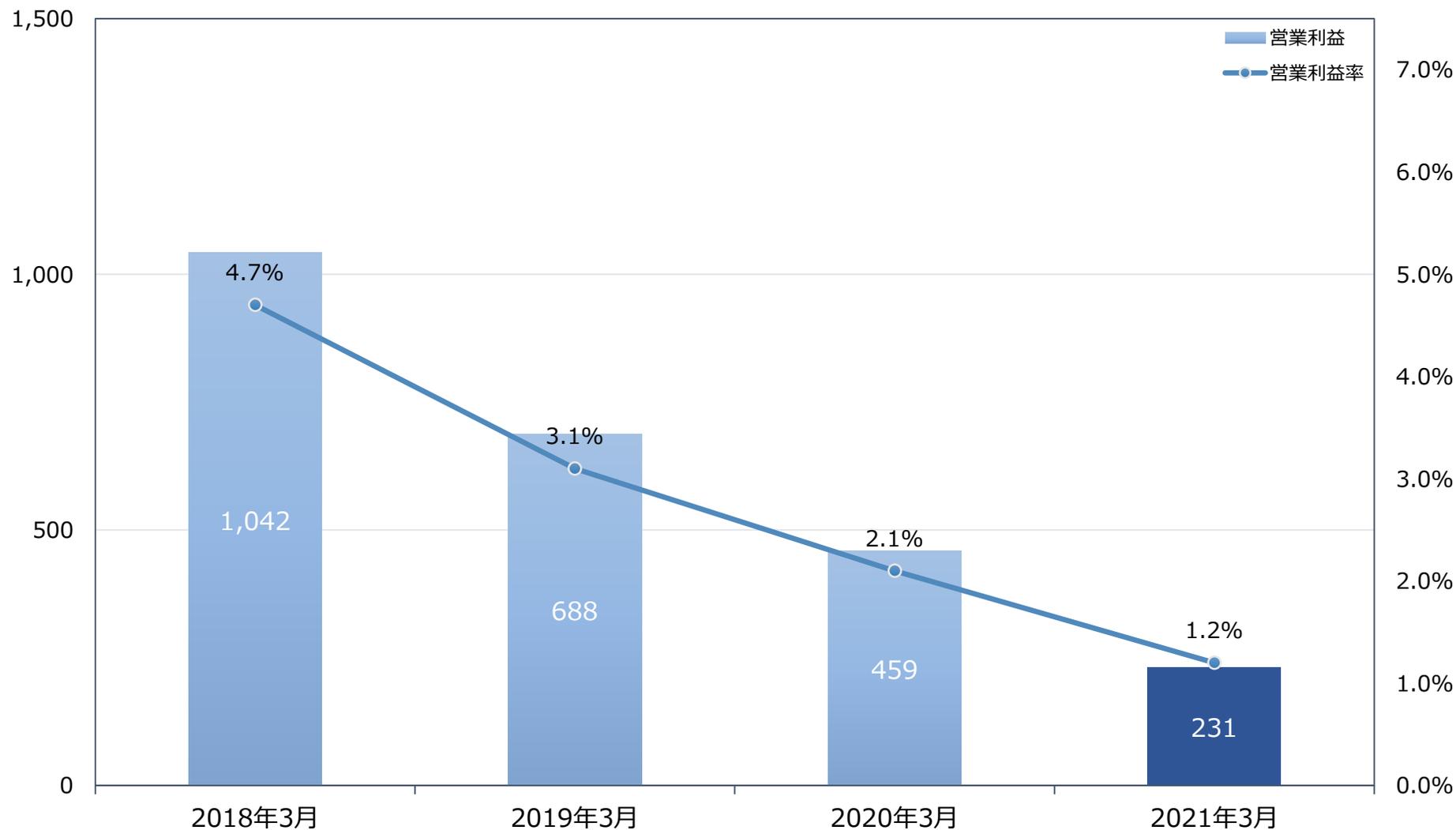
V.2.① 個別売上高（推移表）

（単位：百万円）



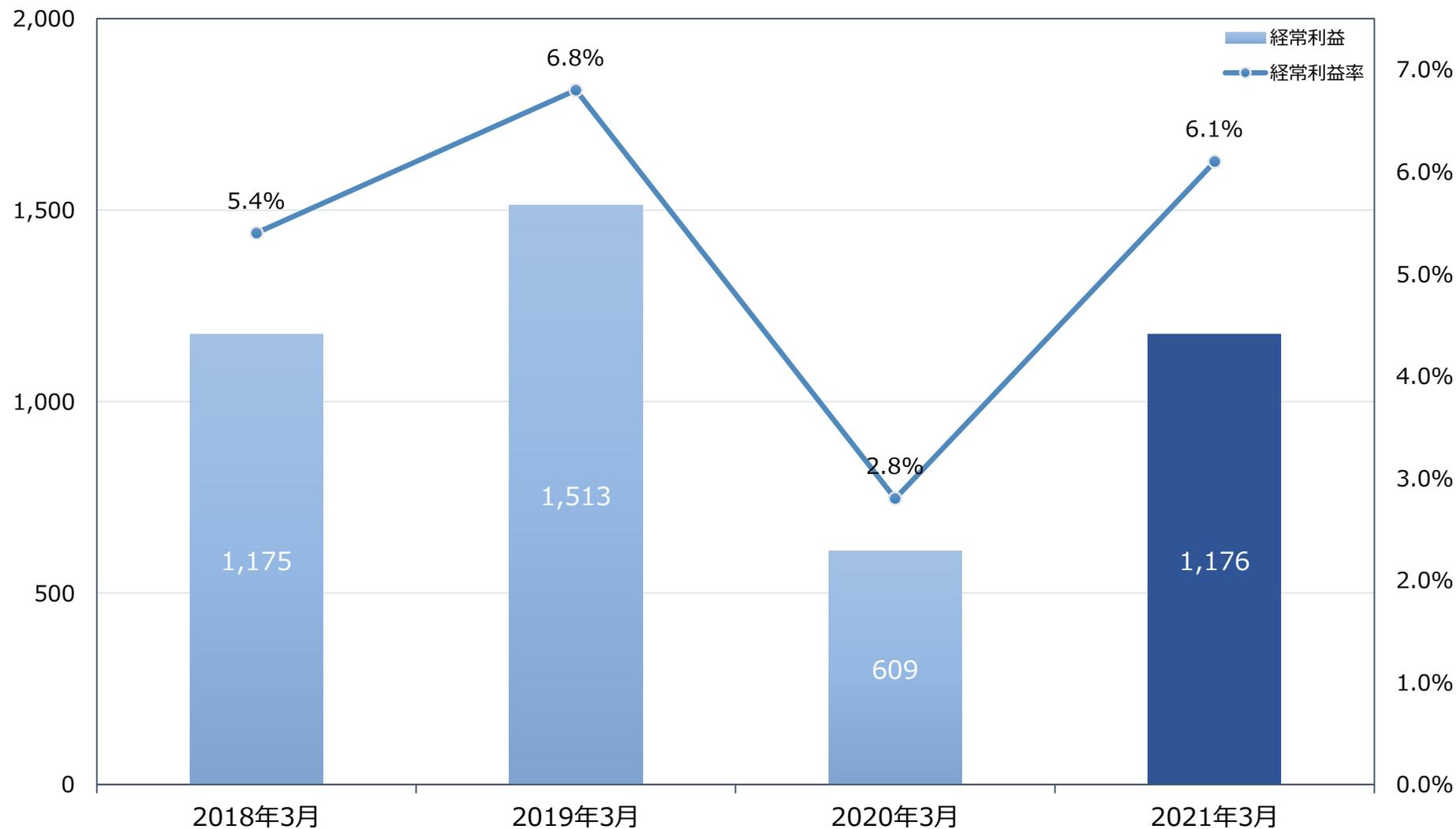
V.2.② 個別営業利益（推移表）

（単位：百万円）



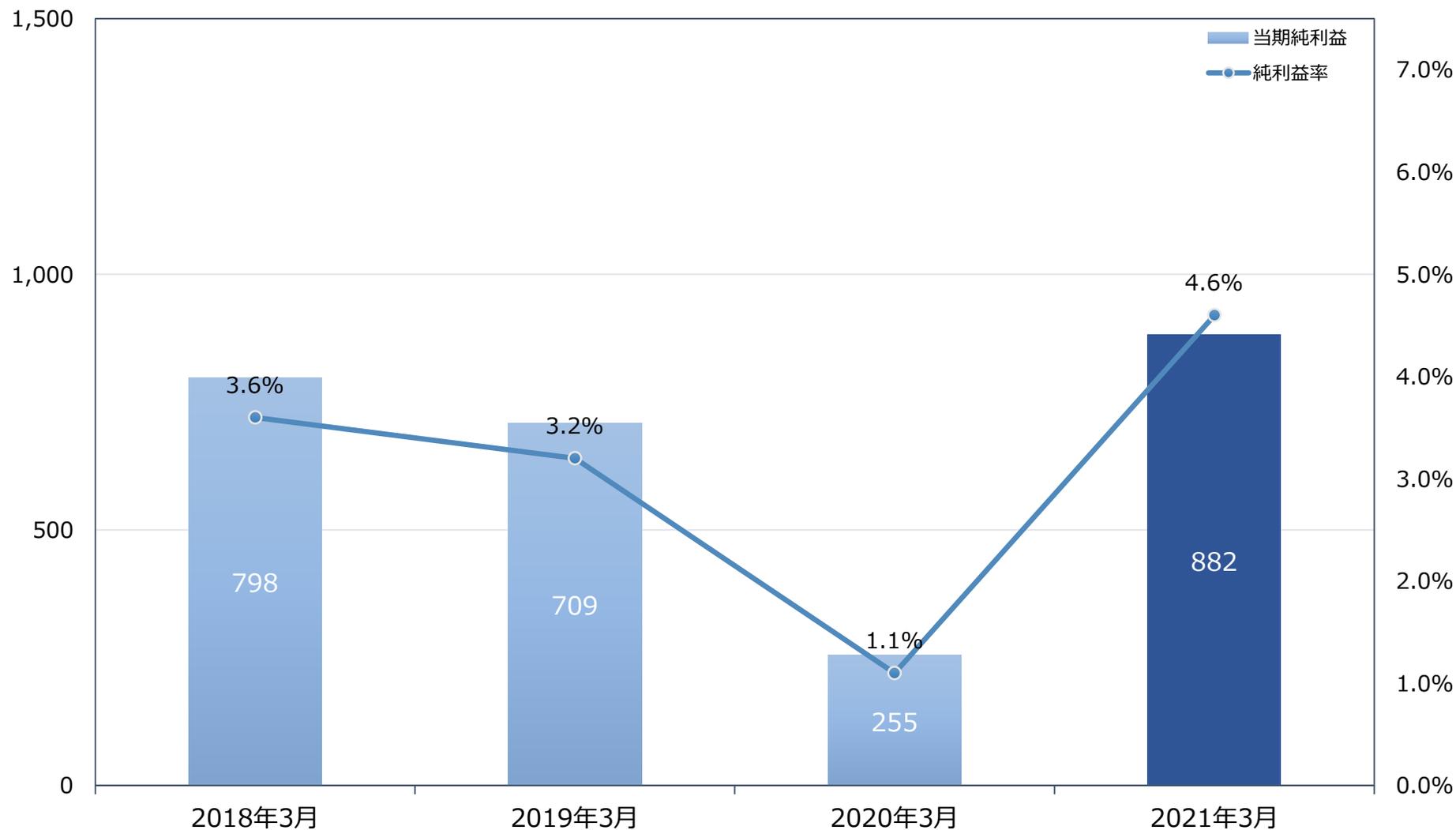
V.2.③ 個別經常利益（推移表）

（単位：百万円）



V.2.④ 個別当期純利益（推移表）

（単位：百万円）



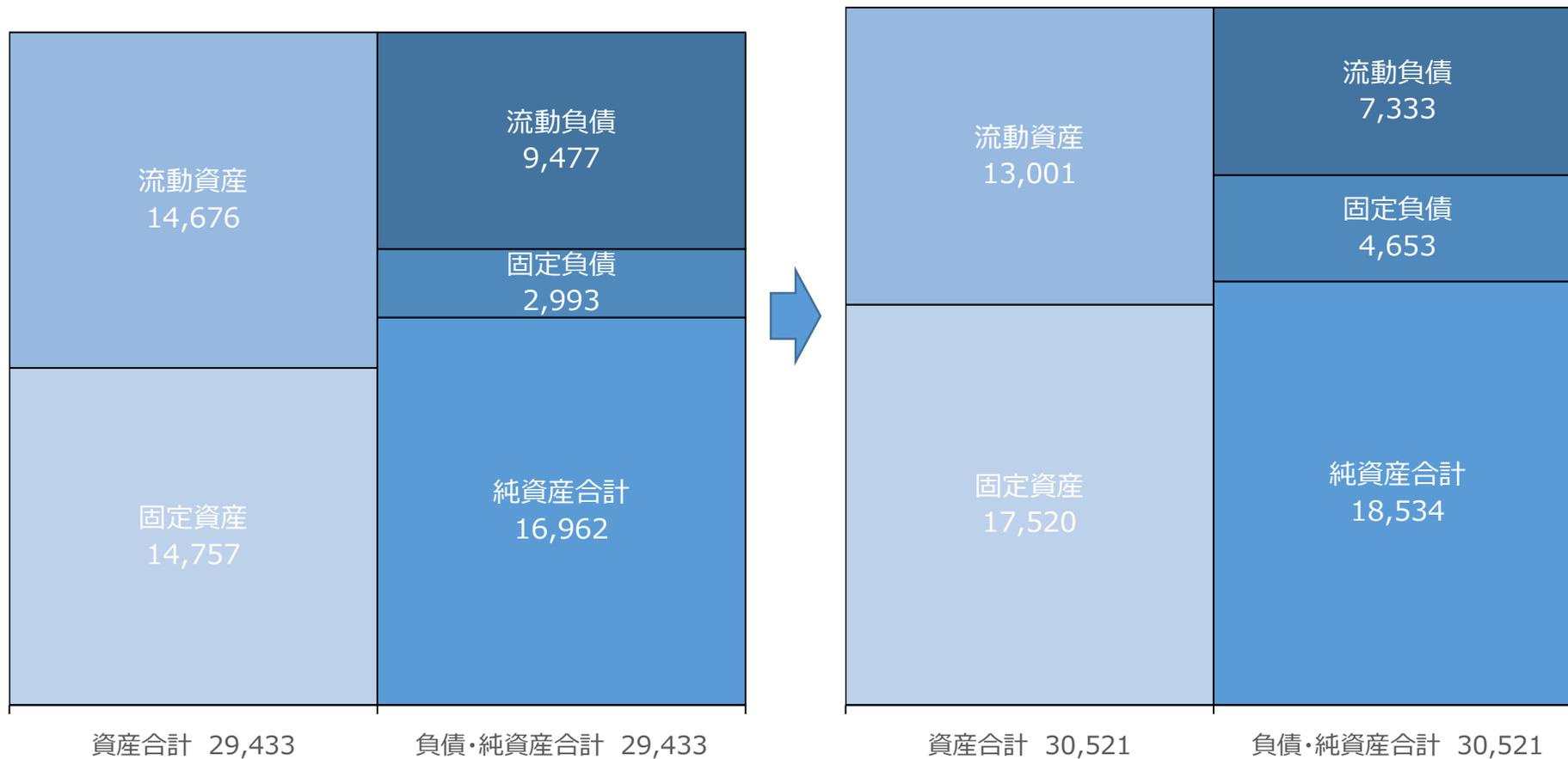
V.3.① 個別貸借対照表の状況

(単位：百万円)		2021年 3月期末	2020年 3月期末	増減額	主な増減要因
資産の部	流動資産	13,001	14,675	▲1,675	短期貸付金の減少 ▲942百万円
	現金及び預金	3,460	2,823	+637	-
	固定資産	17,520	14,757	+2,762	投資有価証券の増加 +2,012百万円 長期貸付金の増加 +1,153百万円
	資産合計	30,521	29,433	+1,088	-
負債の部	流動負債	7,333	9,477	▲2,144	短期借入金の減少 ▲946百万円
	固定負債	4,653	2,993	+1,660	長期借入金の増加 +1,050百万円
	負債合計	11,986	12,470	▲484	-
純資産の部	株主資本計	16,084	15,676	+408	利益剰余金の増加 +408百万円
	評価・換算差額等	2,450	1,285	+1,164	その他有価証券評価差額金の増加 +571百万円
	純資産合計	18,534	16,962	+1,572	-
負債純資産合計		30,521	29,433	+1,088	-

V.3.② 個別貸借対照表（2期比較）

2020年3月期BS

2021年3月期BS





ディスクレーマー

本資料は投資家の参考に資するため、新家工業株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。本資料に記述されている業績予想ならびに将来予測は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。よって、その完全性を保証するものではなく、様々な要因の変化で実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。以上を踏まえた上で、投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。